

讃留靈王神社（古墳：4～5世紀）

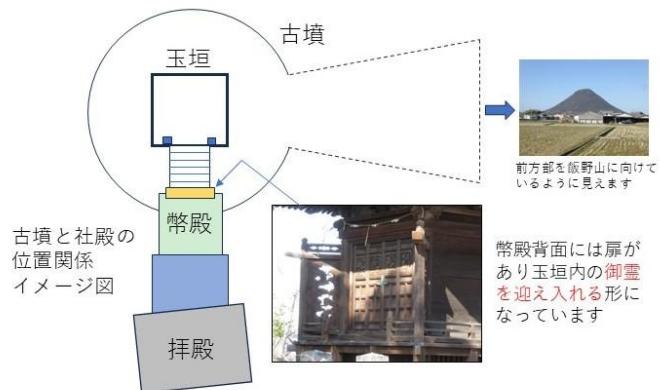
～「古墳の被葬者を祀っている」ことが明確な
極めて珍しい形式の神社～

目次

1. おすすめポイント
2. 説明
3. 現地写真
4. 「鳥の目」で
5. 法勲寺（跡）
6. アクセス

資料番号	S7
------	-----------

初版：2025.12.17



1. おすすめポイント

★古墳の被葬者を祀っていることがこれほど明確な
神社は他にありません（極めて珍しい！）

貴重ゆえに文化財に認定されたようです。

★讃留靈王とはどんな人だったのでしょうか？

諸説あるようですが、讃岐に多大な貢献をされた方
であるのは間違いないありません

2. 説明

讚留靈王神社

●祭神

たけかいこう

やまとたけるのみこと

きびあなどたけひめ

建貝児王（父：日本武尊・母：吉備穴戸武姫の第5王子）

●古墳・御神体

景行天皇の23年（西暦71～131）勅に奉じて南海の悪魚を退治
讃岐国を守り給う。国人称して讃留靈王といふ。

前方後円墳（古墳前期300～400年）

全長101m 後円部L=32m H=5m

（讃留靈王を祀る神社は後円部の中心にある）

●見どころ

古墳と神社神殿は全国的に珍しい建築様式

- ・石塔 元宮 土盛
- ・神社建物 本殿裏面扉 建築様式
- ・献金石碑 香西浦から（明治時代）

出会い ふれあい みんなで築く田園のまち 法の郷

2-1

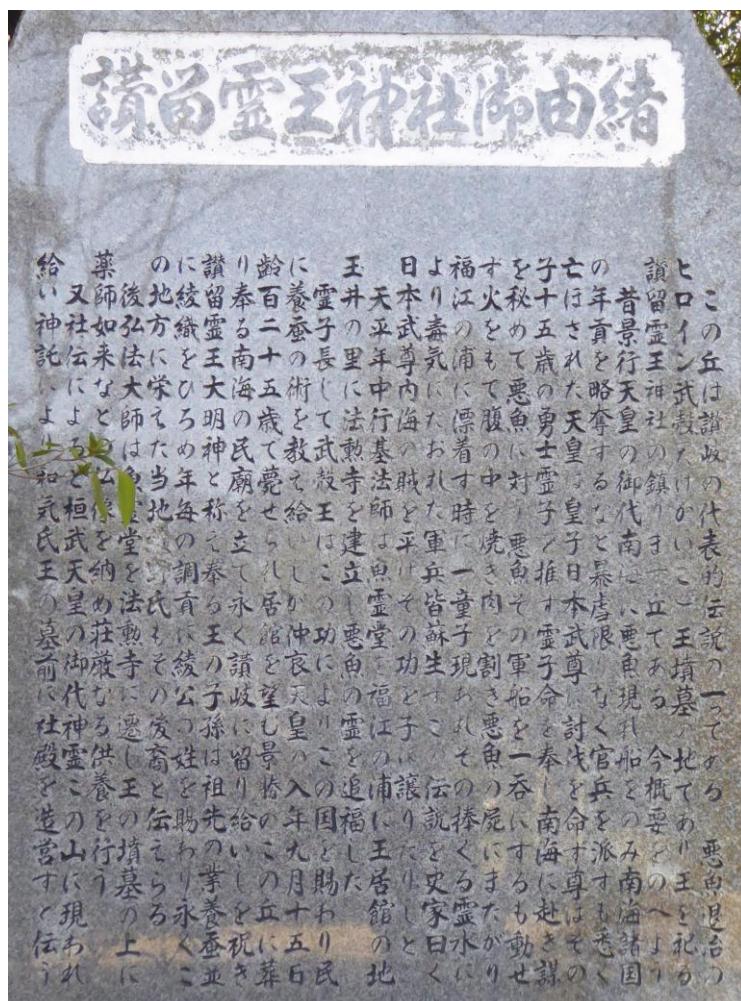
説明版

御神体が「古墳」



2-2

・<前略>

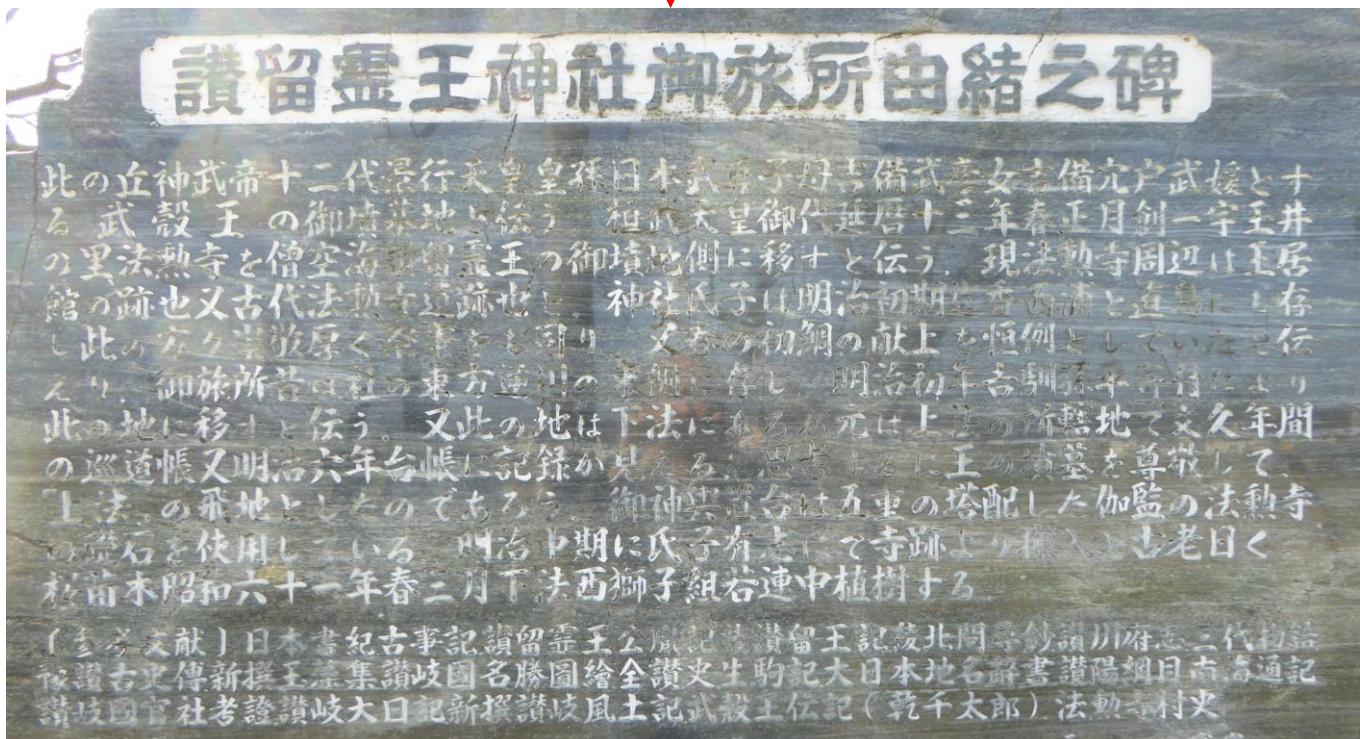


2-3

神社由緒石碑



2-4



2-5

神社由緒石碑 2



碑文（横書き）によれば
明治初期まで直島や香西
浦にも熱心な氏子がいた
とのこと。

瀬戸内海で暮らす人々に
大きな貢献をされた方な
のでしょうか？

3. 現地写真

2020.2.23



3-1



3-2 幣殿背後の扉

幣殿

背後側に扉
『桟唐戸』



3-3



3-4



3-5 古墳 後円部墳頂に設置された玉垣

【神社の特徴】

- ・讚留靈王が埋葬されているという前方後円墳の後円部墳頂に玉垣が設置されている
⇒被葬者を祀っていることが明確
- ・玉垣と幣殿は通路で結ばれており、幣殿の背後は扉になっている
⇒玉垣から御靈を社殿に「迎え入れる」意図が明確

3-6



玉垣

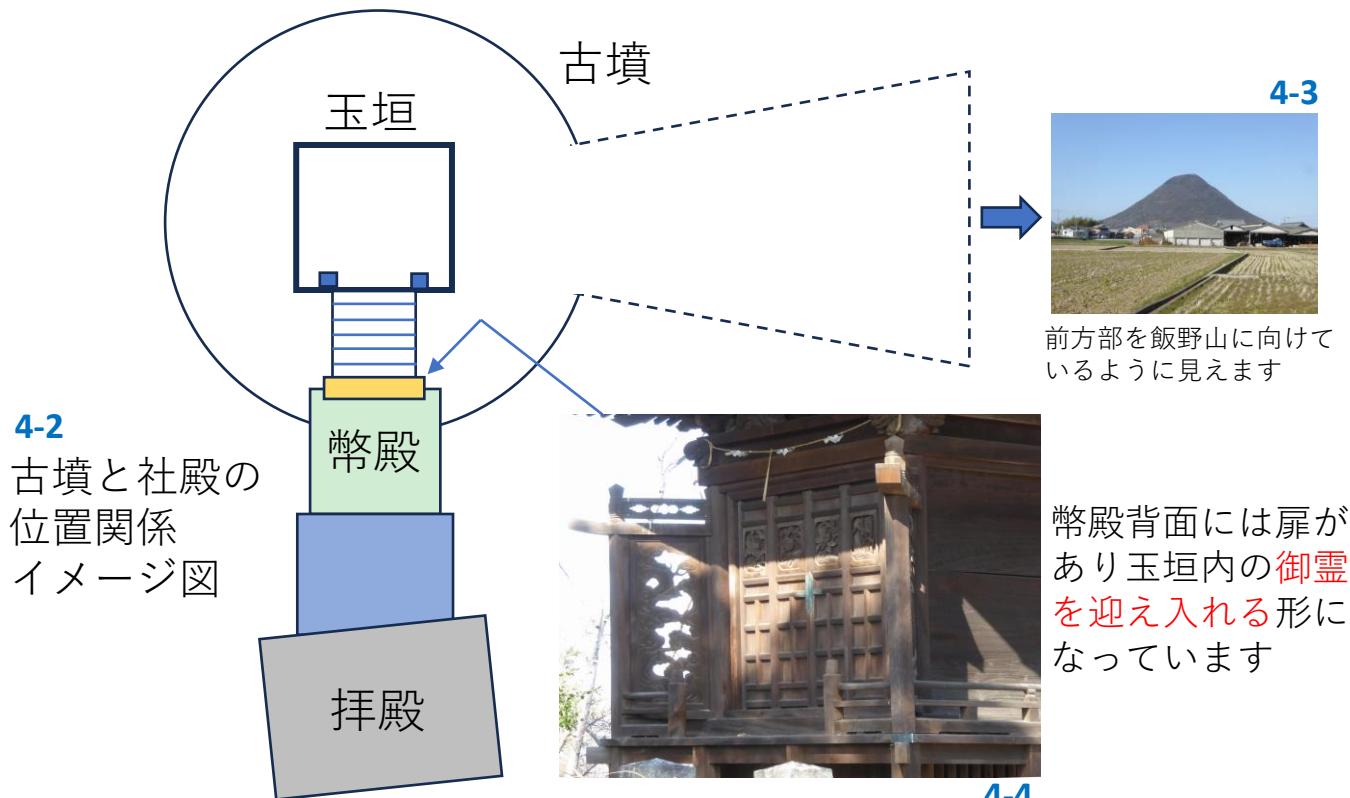
幣殿と通路
状の構成

4. 「鳥の目」で

2020.2.23



4-1



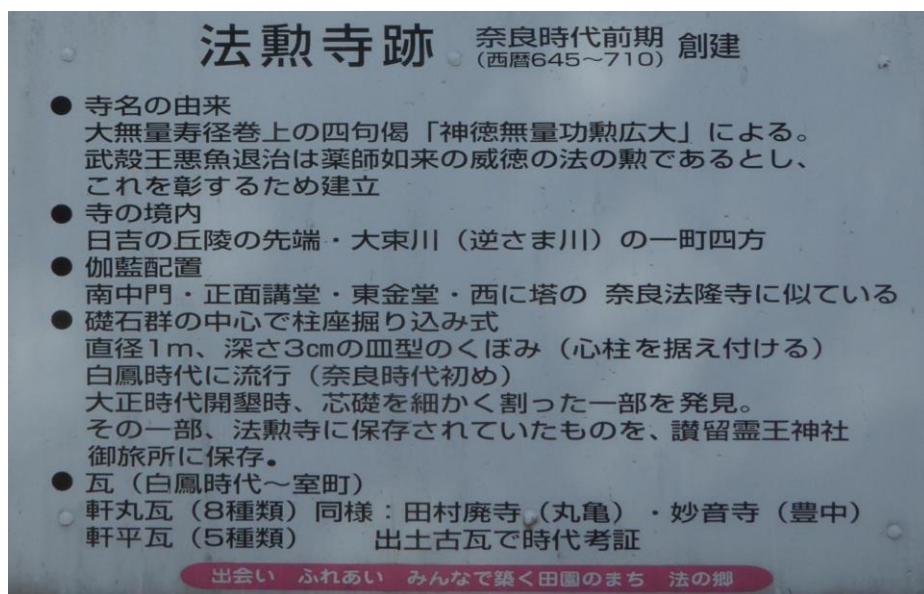
5. 法勲寺（跡）

礎石は発見された近くの地から移設されたものです



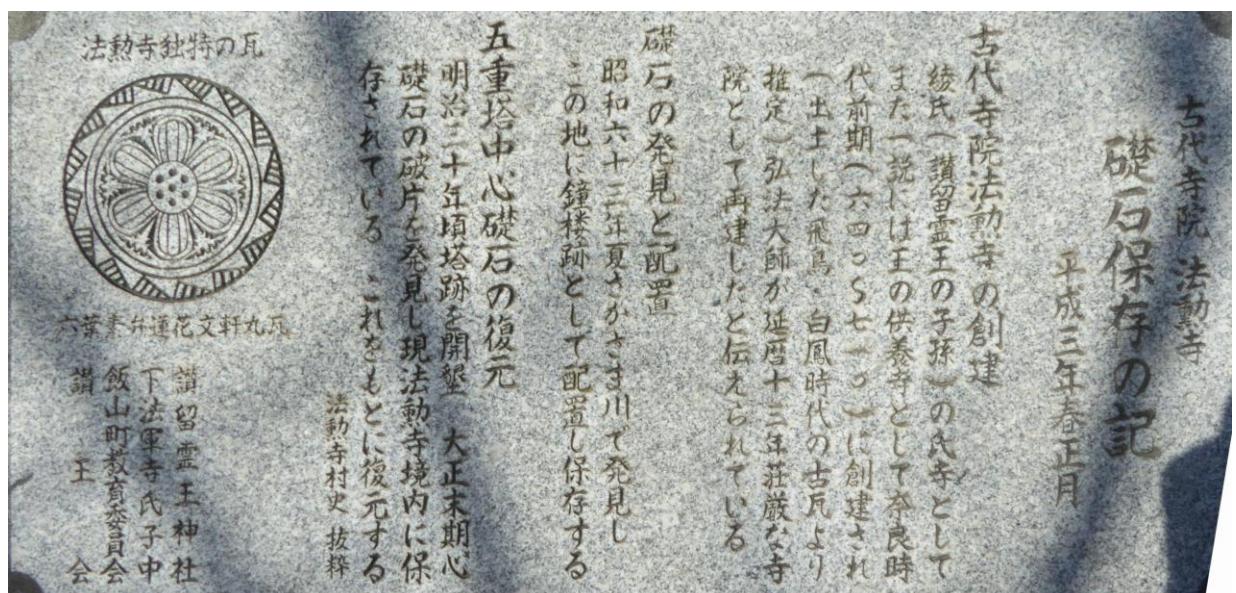
5-2 復元された塔の礎石

5-1



説明版

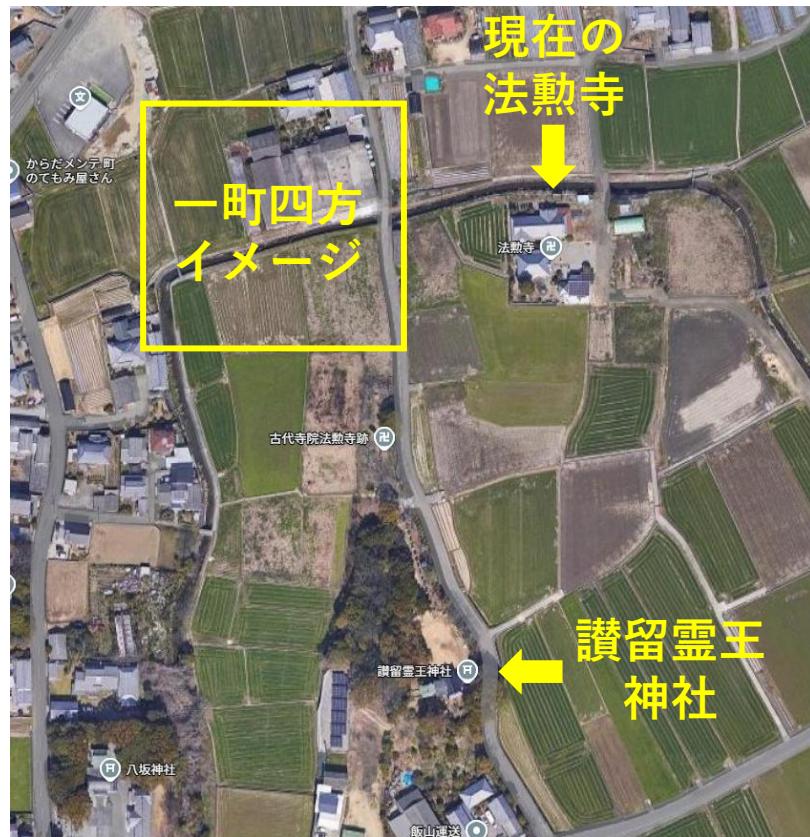
5-3



5-4

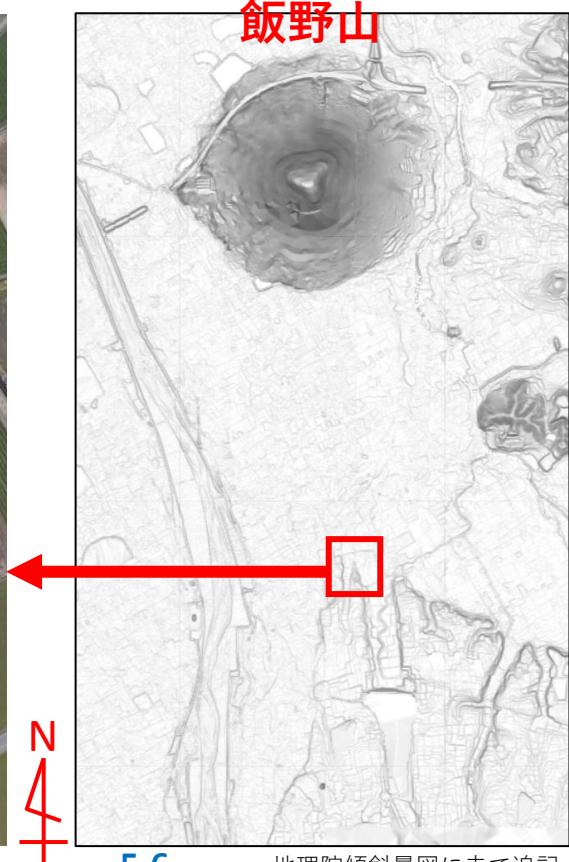
礎石保存の石碑

説明版によれば法勲寺の境内は一町四方



5-5

Google Mapに黄で追記



5-6

地理院傾斜量図に赤で追記



5-7

6. アクセス



6-1

Google Mapに赤黄で追記



6-2

Google Mapに黄で追記